公園整備の概要

（１）みんなが憩い楽しみ、子どもが遊びや運動を通して成長する公園

サポートが必要な乳幼児からスポーツを楽しむ年代の子どもまで、何度も訪れ、雨の日も含め一日中飽きることなく遊びや運動・スポーツに熱中できる施設を中心として、全ての世代の人々が楽しく過ごせる公園にします。

（２）子どもの発達段階に応じた遊び場・スポーツ空間の創出

遊び場・スポーツエリアには、対象年齢ごとに「乳幼児ゾーン」、「子ども遊びゾーン」、「子どもスポーツ施設ゾーン」の３つのゾーンを整備し、それぞれの年齢や運動能力に合った施設で遊ぶことができます。

（３） 子どもが夢中に遊び、新たな遊びを引き出す環境づくり（プレイリーダーの配置）

主要な遊戯施設に、子どもの遊びや知育を支えるプレイリーダー（遊びの指導員）を配置し、より高度な動きをサポートするとともに、多様な運動プログラムを提供するなど、遊びを通して体を動かす楽しさを知るきっかけとなる場にします。

（４） 利用者ニーズの変化等に対応した遊戯施設等の適宜更新

何度も訪れたくなる施設となるよう、運営事業者が利用者のニーズに応じて、適宜遊具を更新するしくみも要求します。

（５） インクルーシブな空間の創出

障害の有無に関わらず、子どもを含む全ての人が一緒に分け隔てなく楽しく過ごせる公園を目指します。

（６） 子どもたちが利用しやすい廉価な利用料金の設定

サービス水準が高く満足感が得られるよう一部施設を有料化し、その際には、子どもが利用しやすい料金となるよう施設整備費等の一部を県が負担するなどの工夫をします。

※写真はイメージ

事業者募集で示す施設毎の要求水準に基づき、民間事業者がノウハウを活かした提案を行うものであり、施設配置等は提案内容により変更する可能性があります。

施設毎の要求水準（案）

主な施設			規模等	有料・無料
遊び場・スポーツエリア	① 乳幼児 遊びゾーン 6ヶ月～5歳	乳幼児用屋内遊戯施設	40人の同時利用	有料施設
		〃　屋外遊戯施設	〃	
	② 子ども 遊びゾーン 3～10歳	子ども用屋内遊戯施設	60人の同時利用	有料施設
		〃　屋外遊戯施設 （例:スケートボードパークなど）	〃	
		フィールドアスレチック	延長300m以上	
		遊具広場	180人の同時利用	無料施設
	③ 子ども スポーツゾーン 8～15歳	天然芝広場	60人の同時利用	有料施設
		屋根付き人工芝広場	4,000m²以上	
エントランスエリア	④ エントランス ゾーン	インクルーシブ遊具広場	500m²以上	無料施設
		カフェ・レストラン	150席以上、 屋内外で500m²以上	飲食店舗

新たな公園のイメージパース

事業者募集で示す施設毎の要求水準に基づき、民間事業者がノウハウを活かした提案を行うものであり、施設配置等は提案内容により変更する可能性があります。